

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年12月4日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|--|-------|------------|
| 事業所番号 | 0170503106 | | |
| 法人名 | 株式会社 フロイデプランニング | | |
| 事業所名 | グループホーム けあふる | | |
| 所在地 | 札幌市南区藤野3条4丁目13番2号 (電話) 011-593-1112 | | |
| 評価機関名 | 有限会社 ふるさとネットサービス | | |
| 所在地 | 札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階 | | |
| 訪問調査日 | 平成21年12月2日 | 評価確定日 | 平成22年2月12日 |

【情報提供票より】 (平成21年11月1日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------------|--------|-------------------------|
| 開設年月日 | 平成 17 年 3 月 1 日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 17 人 | 常勤 | 13人, 非常勤 4人, 常勤換算 15.5人 |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|-------|--------|--|
| 建物構造 | 木造 造り | | |
| | 2階建ての | 1～2階部分 | |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|-------------------|----------------|------------------------------------|
| 家賃(平均月額) | 36,000 円 | その他の経費(月額) | 光熱水費 20,000 円 暖房費(11～3月)15,000円 |
| 敷金 | (有) (72,000円) ・ 無 | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有 () 円 | 有りの場合 償却の有無 | 有 / 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ 円 |
| | または1日当たり 1,500 円 | | |

(4) 利用者の概要 (11月1日現在)

| | | | | | |
|-------|----------|------|-----|----|------|
| 利用者人数 | 18名 | 男性 | 6名 | 女性 | 12名 |
| 要介護1 | 1名 | 要介護2 | 2名 | | |
| 要介護3 | 6名 | 要介護4 | 7名 | | |
| 要介護5 | 2名 | 要支援2 | 0名 | | |
| 年齢 | 平均 80.8歳 | 最低 | 63歳 | 最高 | 101歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|------------------------------|
| 協力医療機関名 | 川谷中央病院、小笠原クリニック、五輪橋病院、ときわ病院他 |
|---------|------------------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、四季の移り変わりを五感で感じられる自然豊かな環境に位置しています。福祉に高い関心を持っている運営者と、何よりも「人が大好き」な二人の管理者の熱い思いを職員は共有し、理念に沿って日々ケアサービスを実践しています。地域の方々にホームへの理解を深める工夫を図って、前進している「グループホームけあふる」です。

【重点項目への取組状況】

| | |
|-------|--|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 前回の改善課題である「運営推進会議の柔軟なメンバー構成や議題の拡大」「利用者の個人別のお便り」「職員全員の外部研修参加」は、改善された項目もありますが、他は継続しての取り組みとしています。 |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 職員全員で自己評価に取り組みましたが、項目の意図とする内容の理解が十分とは言えませんが、今後の取り組みとしています。 |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) |
| | 推進会議は、家族、民生委員、町内住民、地域包括センター職員で構成され、ホームの現状報告、地域の協力体制、ホームへの質問など、意見交換が行なわれ、ホームの運営に反映しています。 |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) |
| | 家族の意見や要望は、来訪時や運営推進会議、電話で把握しています。表出された課題は会議で具体策を話し合い、運営に反映しています。 |
| 重点項目⑤ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| | 地域の方々とは挨拶は基より、町内会行事やホーム主催の行事で相互の交流があり、徐々に繋がりが広まっています。 |

2. 評価結果（詳細）

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|--|----------------------|---|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 三箇条からなる理念の中に「精神及び身体において社会性を保ちながら自立できる場であること」との文言が謳われており、地域の中でその人らしく生活が継続できることを支えるケアサービスに努めています。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念はホーム内に掲示され、職員は、朝夕の申し送り時や会議、研修会で、理念に沿っての実践の確認や再認識に取り組んでいます。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地域の方々とは、外出時に挨拶を交わしており、ホーム主催の夏祭りやクリスマス会に参加をいただいています。利用者の介護度により行事への参加は限られていますが、地域の清掃活動や介護相談の受け入れなどで、ホームへの理解に繋がる取り組みを継続しています。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 職員は各自、自己評価表の項目を分担し、その結果を集約し会議で話し合い、管理者が纏めています。入社歴の浅い職員が多く、評価項目の意図とする内容の把握については、十分とは言えない状況です。 | ○ | 自己評価の項目の内容を理解する方法として、例えばサービス評価のガイドブックの参照や、改善課題の取り組み状況を記録する「改善計画表」などを活用し、職員自ら研鑽することを期待します。 |

札幌市南区 グループホーム けあふる

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|--|----------------------|---|
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 推進会議は、家族、民生委員、町内住民、地域包括センター職員で構成され、年3回開催しています。ホームへの理解に繋げるため、行事の日に会議を開催することもあり、運営に向けての意見をいただき、課題は職員の共有とし、具体策を検討していますが、前回の改善課題の柔軟なメンバー構成と議題の拡大は、継続しての取り組みとしています。 | ○ | 利用者の介護度の高さや、職員の異動などの諸事情があり、前回の改善課題の取り組みは継続していますが、今後、町内会役員への積極的な参加要請やホームの課題を公表することにより、様々な意見集約を考慮していますので実行に期待します。 |
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 行政の担当者とは行き来する機会があり、ホームの運営に向けての情報提供やアドバイスをいただき、質の向上に努めています。運営者も常に行政担当窓口を訪れ、情報の交換を行なっています。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | ホームでの利用者の暮らしぶりや職員の異動は、毎月発行のユニット毎のお便り（写真掲載）で報告し、家族来訪時や電話、ケアプラン郵送時にも詳細を伝えています。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族の意見や要望は、来訪時や運営推進会議、電話で把握し、更に家族来訪時に意見を表しやすい雰囲気作りを心掛けています。課題は、職員の共有とし具体策を話し合い、内容も記録しています。内・外部の苦情相談窓口も伝えています。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 運営者は馴染みの職員の異動や離職は、利用者には不安を与えることを十分理解していますが、止むを得ず異動や離職が発生した場合は、馴染みの職員が寄り添い、安心感に繋がる取り組みに努めています。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 運営者は、職員の資格取得に向けて内部・外部研修の参加促しや、勤務日程の調整を行っています。日常業務に於いての実務研修に重きを置いています。外部研修の職員全員参加の取り組みは継続としています。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 管理者は、市の管理者会議や区の連絡会で会長を担っており、ほかのホームとは頻りに情報交換を行っています。職員も交流する機会を持ち、ホームの質の確保に努めています。2名の管理者の人的ネットワークを通じて、さらにほかのホームとの交流を予定しています。 | | |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居前には、利用者や家族の方々にホームを見学していただいたり、居宅へ訪問して要望や意向を把握し、情報は職員の共有としています。利用開始時は、利用者に常に寄り添い、不安を取り除き、早く雰囲気慣れる配慮をしています。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 職員は、利用者の会話の中から、暦の言葉の由来や意味、昔の出来事、植栽方法などの教えをいただいています。さらに利用者からの感謝の言葉が励みに繋がり、絆の強さを感じます。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|---|----------------------|-----------------------------------|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 利用者の意見や要望は、日常生活での言動や、これまでの生活歴、家族の情報を基に把握し、利用者の根底にある感情を汲み取り共感する取り組みが図られています。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 利用開始時の介護計画は、2週間から1ヵ月の暫定期間を設け、利用者の心身の状態が安定した時点で、利用者、家族、医療関係者の意見や意向を踏まえ、会議で十分な話し合いを重ね、利用者本位の介護計画を作成しています。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 利用者の個別記録や関係者の情報を基に、3ヵ月毎に介護計画の見直しが行なわれています。利用者の心身の状態に変化が発生した場合は、関係者と情報を共有し、適切な介護計画を新たに作成しています。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 利用者や家族の意向に沿い、通院、買物、散歩同行や自宅への送迎、また訪問理美容やボランティア、介護相談の受け入れなど、ホームとして柔軟な対応に努めています。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|---|----------------------|-----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 24時間連絡対応の協力医療機関による週一度の往診や看護師による訪問介護、さらに利用以前のかかりつけ医への受診支援により、利用者の健康管理が適宜行なわれ、診療内容は関係者の共有としています。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化や終末期のあり方は、ホームとしての対応指針を作成し、利用契約時に利用者、家族から同意をいただいています。以前に看取りに近い経験もあり、急変時には、その都度関係者と話し合いを重ね、情報を共有する体制を整えています。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない | 職員は、理念の尊厳（一人の人間として人間らしく生活できる場であること）を念頭に置きケアサービスに努めています。介助する上で不適切な言動が見られた場合は、職員同士で注意を促し、質の向上に繋げています。個人記録も適切に保管しています。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ホームとして一日の予定はありますが、それに縛られることなく利用者の意向を尊重し、ゆったりとした一日が過ごせる支援に取り組んでいます。 | | |

札幌市南区 グループホーム けあふる

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|------|---|---|----------------------|-----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 利用者の好みを参考に献立を作成し、食欲に繋がる支援をしています。介護度の高い利用者の方々にも、介助は最小限度にとどめ、自立を大切にしたい見守りの下、声かけをしながら食卓を共に囲んでいます。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 週2回の入浴日を設定していますが、利用者の心身の状態や意向には柔軟に対応しています。1階には特殊浴室を設置し、車椅子の利用者もゆったりと浴槽に身を沈めています。職員2名の介助で一般浴の入浴も支援しています。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 職員は、利用者の生活歴や日常会話から得意分野を把握し、調理の補助、新聞折り、お茶のバック詰め、活花、菜園の水遣りなどで役割を担っていただき、達成感に繋がっています。利用者全員での外出行事や季節毎のホーム内の行事は、このほか楽しみにしています。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 利用者の心身の状態や天候に応じ、近くの公園への散歩や隣近所の庭を見学したり、自動販売機で飲物の調達、さらにホームの前庭でバーベキューやお茶会で利用者全員が外気に触れる取り組みに努めています。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 日中は施錠せず、職員のさり気ない見守りの下、利用者は自由に外出を楽しんでいます。夜間は防犯上、玄関のみ施錠しています。 | | |

札幌市南区 グループホーム けあふる

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|------|---|---|----------------------|--|
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年2回、消防署の指導の下、避難訓練を実施しています。毎日職員が「消防設備日常検査表」で確認していますが、あらゆる場面を想定した訓練や地域の協力体制はこれからの課題としています。 | ○ | 地域の方々と相互の協力体制による避難訓練の取り組みを検討されることを期待します。 |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 一人ひとりの食事量や水分量は、摂取毎に記録に残し職員の共有としています。特別食や嚥下状態に配慮した食事を提供しています。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 玄関から入った共用空間は回廊式になっており、落ち着いて寛げるソファの設置、反対側には食事やレクリエーションの場となる食卓が配置され、利用者の気持ちの切り替えに繋がっています。四季折々の行事食や利用者の共同作品の掲示、窓から見える風景で季節の移ろいを感じています。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室は馴染みの家具や調度品を配置し、趣味の物や家族の写真が飾られ、安心感の中で暮らし続けられる支援をしています。 | | |

※ は、重点項目。